

放射線被ばくに関する講習会のご案内

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

多くの国民が、放射線や放射能への関心を高めるきっかけになった 2011 年東日本大震災に伴う原発事故から 10 年が経過しました。昨今は、報道も落ち着きつつありますが、不安が解消されたわけではありません。一方で、医療現場では、法令改正もあり、放射線被ばくへの関心が高まっています。

埼玉県診療放射線技師会では、会員の皆様に今一度「放射線被ばくについて見直してみよう」という趣旨の講習会を企画しました。改めて放射線防護を考えるべく、医療従事者に対する放射線防護、患者さんに対する放射線防護、それぞれについて考え直すきっかけとなる講演内容を予定しています。

日頃、診療に携わる中で、しっかり防護できているのだろうか、これは意味があるのだろうか、このままでいいのだろうかなど、放射線防護に関して適切に対応できるように、情報交換もしていければと考えています。ご参加をお待ちしております。

記

日時：令和 4 年 2 月 19 日（土） 14：00～18：00（入室開始 13:45）

会場：Zoom を利用したオンライン開催

プログラム

総合司会 埼玉医科大学病院 紀陸剛志

①放射線防護について考える～患者編～

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 放射線防護の最新知見 | JART 医療被ばく安全管理委員会 鈴木賢昭 |
| 2. 放射線防護の現状（東京多摩地域） | 公立福生病院 野中孝志 |
| 3. 放射線防護の現状（埼玉県） | SART 公益委員 |

②放射線防護について考える～従事者編～

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 改正電離則の概要 | さいたま赤十字病院 北山早苗 |
| 2. 実践的従事者防護 | 上尾中央総合病院 佐々木健 |

③特別講演 「放射線について考えよう。」

大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 准教授 多田将

受講料：会員 2,000 円 非会員 4,000 円

※非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、
日本診療放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

定員：70名

申込方法：本会ホームページ上の専用フォームよりお申込み下さい。

申込期間：2021年12月13日（月）～2022年2月5日（土）

※参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付いたします。

支払方法：参加登録費は銀行振込または PayPay で先払いとなります。

入金期日：2022年2月7日までに入金お願い致します。

※振込先口座および PayPay 支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。

※PayPay の場合、申込登録手順が3段階となります。

※振込手数料は申込者をご負担ください。

領収書の発行：

1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM 利用明細書等をご使用ください

2. PayPay の場合

自動返信メールの内容をご確認ください

感染対策：

十分な感染対策をおこない、開催致します。

ただし社会情勢によっては、Web 開催のみとなる場合があります。

※新型コロナ感染症の影響を考慮して web 開催となりました。(2022年2月4日更新)

注意事項：

※過払いやキャンセル等があっても返金はありません。

※入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。

お問い合わせ：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728

平日（月～金曜日）9:00～15:00